

東委員（民主県政会）

令和4年3月11日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）公立小学校における定年前退職について

公立小学校の定年前退職者の補充が次の年度の採用者数にも影響すると考えるが、定年前退職が多いという実態をどのように捉えているのか、教育長に伺う。

（答）

小学校教諭の定年前退職者につきましては、近年、100名前後で推移している状況がございます。

人生100年時代と言われている中で、定年前退職者の退職理由は様々なものとなっておりますが、令和2年度について、年代別に見てみますと、20代、30代が約7割を占めている状況にあります。

こうした状況を踏まえ、市町教育委員会とも連携しながら、働きやすい職場づくりを進め、若い世代の定着を図っていく必要があると認識しております。